

みやら公民館 平成19年度

平成20年1月から3月までの主な活動

※平成19年1月から12月までの活動は、平成19年12月号の公民館だよりに掲載しています。

平成20年

1月

- 1日 ●嘉利の歌の生演奏
- 2日 ●子年生年合同祝賀会(主催:老人クラブ)
- 4日 ●平成20年成人式並びに祝賀会
- 13日 ●種子取り願い(古語保存会、種子取りアヨウなど斉唱)
- 15日 ●公民館だより1月号発行
- 20日 ●第33八重山毎日駅伝競走大会参加躍進賞受賞



平成20年宮良公民館主催成人式と祝賀会、宮良村の次代を担う若者にカンバイ!

平成20年

2月

- 14日 ●コミュニティー助成事業(宝くじ普及事業)内定
- 16日 ●文化講演会 講師:山根安昇氏 演題:将来の宮良村を考える
- 23日 ●福木、ヤエヤマシタン植樹(オーセ) ●公民館建設期成会準備委員会発足
- 24日 ●正月世願い
- 27日 ●公民館便り2月号発行



最初から最後までスマムニで講演を行った、宮良村出身の山根安昇氏による文化講演会

平成20年

3月

- 10日 ●平成19年度会計監査
- 12日 ●公民館運営審議会
- 15日 ●年度末総会
- 22日 ●役員引継ぎ
- 29日 ●東成底光秀翁が「マヤ」記念、松竹梅鶴亀舞台幕贈呈式
- 30日 ●公民館だより3月号発行



宮良村の更なる発展にようしく!各役員士でがっちり握手でバトンタッチ。新旧役員引き継ぎ式

東成底光秀翁 カジマヤー記念で松竹梅鶴亀舞台幕を寄贈

3月29日、東成底光秀翁からカジマヤーを記念しての松竹梅鶴亀を描いた舞台幕が、公民館の役員、老人クラブの立会のもと、お披露目された。この舞台幕は、お披露目された後、公民館の職員が大切に保管する。この舞台幕は、お披露目された後、公民館の職員が大切に保管する。この舞台幕は、お披露目された後、公民館の職員が大切に保管する。



不連続線3月16日(日) 八重山毎日新聞より転載
葬儀だけは義理を欠くわけにはいかない田舎の習い、しかし続くと家計がもたないとの声が上がったのも田舎▼確かに告別式から始まって七周忌、百日の法要まで付き合ひだからと通い詰めては大ごと。これが月に何件も重なったら年金暮らしのお年寄りだけでなく定収入のない家庭は厳しい▼そこで始まったのが生活簡素化運動。香典を一律千円と決めお返しを廃止した。ところが気持ちの一律化には不満も。本紙の蔵下、山根両氏の論争でも火花が散った。気持ち大事とはいえ相互扶助も目的と宮良公民館が再協議の音頭をとった。▼身内を急逝で弔った

委員の話。村の300世帯の会葬で急場を救われた。しかし今の葬儀では心細い。香典を2千円以内の改定して引続きお返し廃止を検討中ですと他地域には理解を求めよう▼その代わり周忌(ナンカ)は、親戚主体で営む。四十九日も2千円以内でお返し無し。生活改善に賛同します2千円と印刷された御霊前袋を公民館が用意することになった▼父が彼岸の人になり、いざ蓋を開けたら2千円の目安に快く応じた方が大半。付き合ひの度合いで2千円以上の方も。喪家としては遠路の会葬だけでも十分、霊前の中身はその次。機を読むに聡く儉約の達人でもあった故人も了承了承。(仲間清隆)

光陰矢ののごとし、月日の経つのは早いもので1年と3か月の公民館後職の重責も無事勤め終えることができました。後原館長が昨年就任に当たり「情報共有と情報発信の積極的な発信をした」と抱負を述べた。お陰様で字民に公民館の動きや郷友会のことなど毎月お知らせすることができたのは果たした時代。今、公民館は何をされているのか積極的な情報発信を信じているのか積極的に共有し村の更なる発展に繋いでほしいと思います。公民館だよりを最後まで読んでいただき感謝申し上げます。また、有料広告で公民館だよりを費用捻出に協力いただいた事業所の皆さんありがとうございます。ありがとうございました。 (編集長(事務局長) 宇保安博)

公民館だよりホームページで公開中! これまで発行しました公民館だよりを、開東宮良郷友会の協力で郷友会ホームページに掲載してあります。ご覧下さい。 http://www.terradine.jp/~myara/

生年、成人者を祝福
開東宮良郷友会が総会
開東宮良郷友会(宮良康純会長)の「第25回総会」が3月2日、東京・北区の北区民センターで開かれ、生年祝いや新成人を激励しました。開会に当たり宮良会長は「古里では千葉ロッテマリーンズがキャンプを張り、成果をあげたようです。大嶺投手が先発する公式戦に期待。応援に行こう。」とあいさつ。続いて東京八重山郷友連合会会長宮平隆介会長が来賓祝辞を述べました。議事では事業報告、会計報告に続き、役員改選を行いました。結果、全員留任となりました。年男、年女で祝福されたのは砂川清子さん(85歳)旧姓・川田)そして還暦を迎えたのが宮良永徳、宮良康純、山城直盛、岸本京子(旧姓・宇保)さん。新成人は仲間薫君、それ自身が自己紹介。新成人の仲間君は「ソフトボール大会優勝とMVP。そして



大勢の郷友が参加し盛上った今年の総会・成人・生年祝い

て責任の持てる社会人として一日一日を大切に充実した生活を送りたい」と決意。祝宴では生島の代表的な「赤馬節」で座開き、「安里屋」と続き、シャロン歌手・仲里悦子さんのパンチの効いた「酒」を熱唱。「速きふる里」「絆」をメドレーで紹介しました。(幹事長 宮良栄宗)

早く安いの!!
印刷・写真館
スタジオ撮影・出張撮影・撮影全般
古い写真の複写・複元・着せ替え
DPE・デジタル出力・ポストカード作成
いとす写真館
82-2781 (F)83-7236
大川44-5(棧橋通り) 糸洲寛三